

# 令和6年度マレーシア政府派遣留学生 予備教育派遣教員の推薦について

高等教育局参事官（国際担当）付留学生交流室

文部科学省では、マレーシアにおける人材養成への協力の一環として、同国政府からの要請に基づき、昭和58年度から日本人教員を現地に派遣し、日本の大学への留学を目指すマレーシア人学生に対する予備教育に協力をしています。

この度、令和6年度の派遣教員の推薦について各都道府県教育委員会、政令指定都市教育委員会へ令和6年6月14日付け依頼を行っているところです。

社会制度、文化等が異なる環境において、長期間にわたり教育指導を行うことは、教員としての資質の向上に資するとともに、帰国後、各都道府県及び指定都市等における教育の国際化を推進する上で、大きな役割を果たすことが期待されますので、積極的な御応募をお待ちしています。

## 【募集する教科及び採用人数（予定）】

数学（上限5名）、物理（上限2名）、化学（上限3名）のいずれかを担当する者

## 【業務内容】

マレーシアのクアラルンプールにあるマラヤ大学予備教育部（大学の学部進学者のための予備教育機関）にて、日本の大学への留学を目指すマレーシア人学生に対し、担当教科を日本語及び一部、英語により教育指導します。

現在、教科（数学、物理、化学）教員18名が赴任しています。

## 【派遣期間】

原則として、2年間（令和6年4月～令和8年3月）です。

## 【募集方法】

教育委員会の推薦により応募を受け付けます。教員の派遣予定に関する調査票のめ切は8月4日（金）、候補者の推薦書類のめ切は8月25日（金）です。

応募を検討されている方は、詳細については勤務校の教育委員会へお問合せください。

## 【選考方法】

教育委員会からの推薦に基づき、書類審査を行い、書類審査後、別途通知する者について面接選考（令和5年10月中旬～11月上旬予定）を行います。

派遣教員の決定は令和5年11月中を予定しております。

## 【派遣教員の処遇】

「マレーシア政府」又は「日本政府（文部科学省）」から以下が支給されます。

### マレーシア政府からの支給

- ・ 赴任および帰任に要する旅費
- ・ 給与等
- ・ 医療費（マレーシア政府指定医療機関）
- ・ 引っ越しにかかる運搬費

### 日本政府（文部科学省）からの支給

- ・ 在勤手当、家族手当及び住居手当相当費用

## 【本件照会先及び提出先】

文部科学省高等教育局参事官（国際担当）付  
留学生交流室 外国留学係・私費留学生係  
03-5253-4111（内線3359）